岐阜聖徳学園大学（短期大学部を含む）全体のＦＤ方針、ＦＤ目標及び評価指標について

大学全体のＦＤ方針

・大学全体での組織的な取組を通して、教育・研究・諸活動における能力の向上を図る。

・研修等の取組を通して、教育課程の理解を深めるとともに授業の内容及び方法の改善を行う。

大学全体のＦＤ目標

岐阜聖徳学園大学におけるＦＤ活動の目標は次のとおりとする。

１．各学部教員に対してＦＤ目標の周知を行う。

２．教員の質的向上を図るため大学全体で組織的な取り組みを行い、大学全体での教員の資質向上を図るためのＦＤ活動を推進し、点検・評価を実施する。

３．授業の内容改善を図るため、研修会を定期的に開催し、その成果を教職員に周知して、実際の授業改善に結びつける。

評価指標

１．ＦＤ目標の周知

評定　実施：Ｓ　未実施：Ｃ

２．①全学ＦＤ研修会への参加者数（目標値：７割以上の教員出席）

評定　９割以上：Ｓ　７割以上９割未満：Ａ　５割以上７割未満：Ｂ　５割未満：Ｃ

②全学ＦＤ研修会の効果

評定　アンケート項目　１．今後の研究活動に役立つか？における回答

「非常に役に立った・やや役に立った」の割合

９割以上：Ｓ　７割以上９割未満：Ａ　５割以上７割未満：Ｂ　５割未満：Ｃ

３．①授業の内容及び改善を図るための研修会（全学ＦＤサロン）への参加者数（目標値：７割以上の教員出席）

評定　９割以上の出席：Ｓ　７割程度の出席：Ａ

６割程度の出席：Ｂ　５割未満の出席：Ｃ

②全学ＦＤサロンの効果

評定　アンケート項目　１．授業改善を行う上で参考になりましたか？における回答

「非常に参考になった・やや参考になった」の割合

９割以上：Ｓ　７割以上９割未満：Ａ　５割以上７割未満：Ｂ　５割未満：Ｃ

各研究科・各学部におけるＦＤ活動の目標及び評価指標について

（１）国際文化研究科

国際文化研究科におけるＦＤ活動の目標は次のとおりとする。

１．教員の組織改善のためのＦＤ活動を行う。また、教員の資質（研究能力）向上のためのＦＤ活動を行う。

２．授業内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究を実施する。

評価指標

１．①教員の組織改善のためのＦＤ活動実施の有無

評定　実施：Ｓ　　未実施：Ｃ

②教員の資質向上のためのＦＤ活動実施の有無

評定　実施：Ｓ　　未実施：Ｃ

③ＦＤ活動研修会への参加率

評定　参加率 80％以上:Ｓ　70%-79%:Ａ　60%-69%:Ｂ　60%未満:Ｃ

２．①学部との合同開催の授業の内容及び改善を図るための研修会への参加者数

（目標値：80%以上の教員出席）

評定　80%以上の出席：Ｓ　70-79%の出席　：Ａ

60-69%の出席　：Ｂ　60%未満の出席：Ｃ

②ＦＤサロンの効果

アンケート項目１．授業改善を行う上で参考になりましたか？における回答「非常に参考になった。やや参考になった」の割合

評定　80%以上：Ｓ　70-79%：Ａ　60-69%：Ｂ　60%未満：Ｃ

（２）経済情報研究科

経済情報研究科におけるＦＤ活動の目標は次のとおりとする。

１．教員の資質（研究能力）の向上と大学院生の研究能力を高めるためのＦＤ活動を行う。

２．次年度のＦＤ活動に向けた検証と改善

ＦＤ活動を実施し、受講者のアンケート結果から、次年度のＦＤ活動に向けた検証と改善を行う。

評価指標

１．教員の資質（研究能力）の向上と大学院生の研究能力を高めるためのＦＤ活動

評定　実施：Ｓ　未実施：Ｃ

２．①アンケート項目　時間・日程の設定は適切でしたか？における回答「適切だった・やや適切だった」の割合

評定　9 割以上：Ｓ　7 割以上 9 割未満：Ａ

5 割以上 7 割未満：Ｂ　5 割未満：Ｃ

②次年度のＦＤ活動に向けた検証と改善

評定　実施：Ｓ　未実施：Ｃ

（３）教育学部

教育学部におけるＦＤ活動の目標は次のとおりとする。

１．教員養成課程に関する共通理解を深め、学生指導に関する資質・能力の向上の意識を高める。

２．授業内容及び方法に関する組織的研修・研究を実施し、改善への意識を高める。

評価指標

１．①教員間の意見交換の場について実施記録を教職員に周知する。
②前年度に意見交換の場で出された意見および前年度アンケート結果を反映した研修会または意見交換会を実施する。
③教員養成課程に関する共通理解または学生指導に関する資質・能力向上の意識について研修会後にアンケート調査を実施する。
④年度末に教育学部ＦＤ活動に関する振り返りのアンケート調査を実施する。
⑤他大学の取り組みについての調査・検討から、活動の改善を検討する。
評定　すべて実施：Ｓ　３～４項目実施：Ａ　１～２項目実施：Ｂ　未実施：Ｃ

２．①教員間の意見交換の場について実施記録を教職員に周知する。
②前年度のアンケート結果を反映した研修会または意見交換会を実施する。
③研修会を受けての授業改善への意識について研修会後にアンケート調査を実施する。
④年度末に教育学部ＦＤ活動に関する振り返りのアンケート調査を実施する。
⑤他大学の取り組みについての調査・検討から、活動の改善を検討する。
評定　すべて実施：Ｓ　３～４項目実施：Ａ　１～２項目実施：Ｂ　未実施：Ｃ

（４）人文学部（外国語学部）

人文学部（外国語学部）におけるＦＤ活動の目標は次のとおりとする。

１．学生指導に関する資質・能力の向上の意識を高め、より充実した学生支援を目指す。

２．教員の資質向上の意識を高めるため組織的研修・研究を実施する。

評価指標

１．①学生の進路相談を行うなど、進路決定のための支援をする。
②英語、日本語等の民間試験を学生が積極的に活用するよう促す。
③海外体験（オンラインを含む）及び国内研修（フィールドワーク）の機会を提供できるよう、教員間での情報共有をする。
評定　すべて実施：Ｓ　２項目実施：Ａ　１項目実施：Ｂ　未実施：Ｃ

２．①教員間での意見交換をし、それをできる限り共有する。
②授業公開ウイークを設定し、資質・能力向上の機会を得る。
評定　すべて実施：Ｓ　　１項目実施：Ａ　　未実施：Ｃ

（５）経済情報学部

経済情報学部におけるＦＤ 活動の目標は次のとおりとする。

１．2023 年度ＦＤ活動を振り返り、教員の資質・能力の向上及び授業内容の改善に資するＦＤ計画を策定し、ＦＤ活動を推進する。

２．教員の資質を高めるＦＤ活動とするために、

・研修後のアンケート実施と集計の迅速化

・アンケート集計結果に基づきＦＤ活動の検証

・次年度ＦＤ活動の検討

の３項目を実施する。

評価指標

１．評定　実施：Ｓ　　未実施：Ｃ

２．評定　すべて実施：Ｓ　２項目実施：Ａ　１項目実施：Ｂ　未実施：Ｃ

（６）看護学部

看護学部におけるＦＤ活動の目標は次のとおりとする。

１．時代の変化に適応した看護師・保健師・養護教諭養成に必要な教員の資質・能力の向上を図る。

２．授業内容及び方法について、教員間で検討し改善を図ることで学生の学びを保障する。

評価指標

１．①学生アンケート等により教員の資質能力に関する課題を明らかにする。

②課題解決に向けたＦＤ研修会を実施する。

③看護教育等の最新情報や研究について意見交換を図る機会を位置付ける。

④研修会の後にはアンケート調査を実施し、結果について報告し、研修会での学びを教員間で共有する。

⑤科学研究及び助成金研究等に応募する。

評定　すべて実施：Ｓ　３項目実施：Ａ　１～２項目実施：Ｂ　未実施：Ｃ

２．①学生アンケートの結果から授業の改善点を明らかにする。

②各領域で授業を参観し、改善方法について検討する。

③授業改善を図るためのＦＤ研修会を実施する。

④研修会の後にはアンケート調査を実施し、結果について報告し、研修会での学びを教員間で共有する。

⑤学生による授業評価、課題レポートや試験結果等から授業の振り返りを行い、教員自身が授業評価を行う。

評定　すべて実施：Ｓ　３項目実施：Ａ　１～２項目実施：Ｂ　未実施：Ｃ

（７）短期大学部 幼児教育学科第一部・幼児教育学科第三部

短期大学部におけるＦＤ活動の目標は次のとおりとする。

１．授業の内容改善を図るため、ＦＤサロン・ＦＤ研修会を開催し、その成果を教職員に周知して、実際の授業改善に結びつける。

２．教員の質的向上を図るため短期大学部として組織的にＦＤ活動を推進し、取り組みの状況を点検・評価を実施する。

評価指標

１．ＦＤ活動への参加

①短期大学部ＦＤ研修会・ＦＤサロンへの参加（目標値：７割以上の教員出席）

評定　９割以上：Ｓ　７割以上９割未満：Ａ　５割以上７割未満：Ｂ　５割未満：Ｃ

②全学ＦＤ研修会の参加

評定　出席した：Ｓ　出席していない：Ｃ

③他学部のＦＤ研修会・ＦＤサロンへの参加

評定　出席した：Ｓ　出席していない：Ｃ

２．ＦＤ活動の取り組み状況の点検・評価

評定　実施した：Ｓ　未実施である：Ｃ